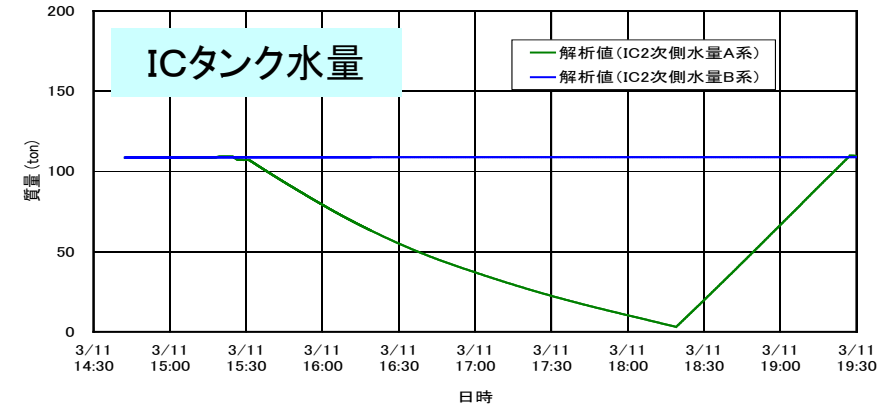
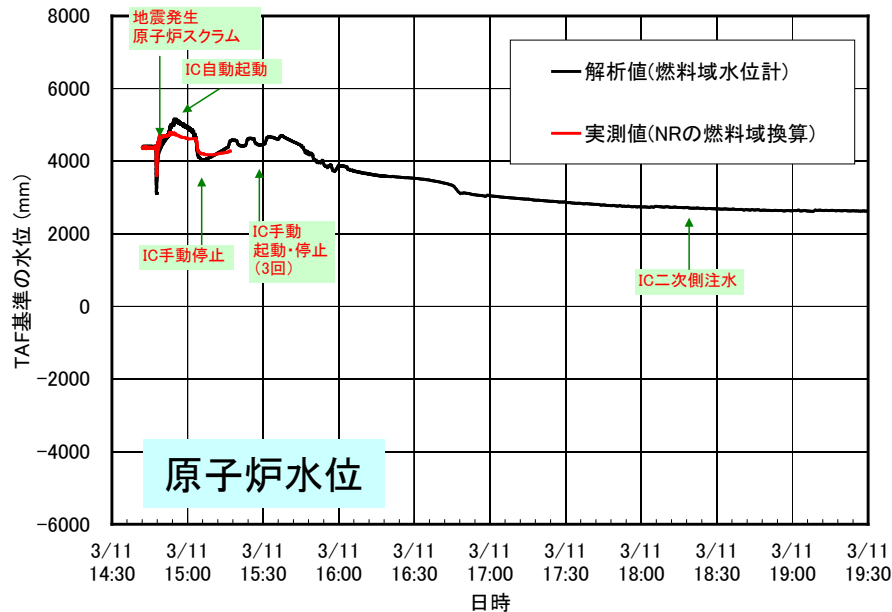
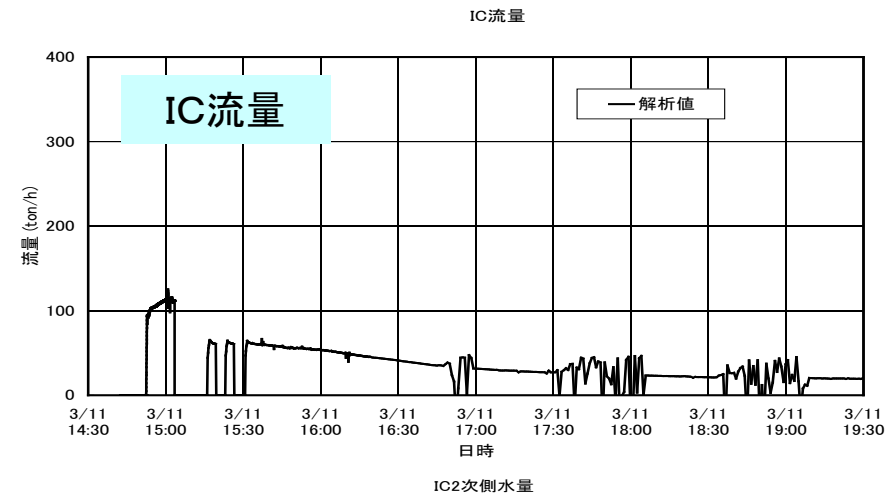
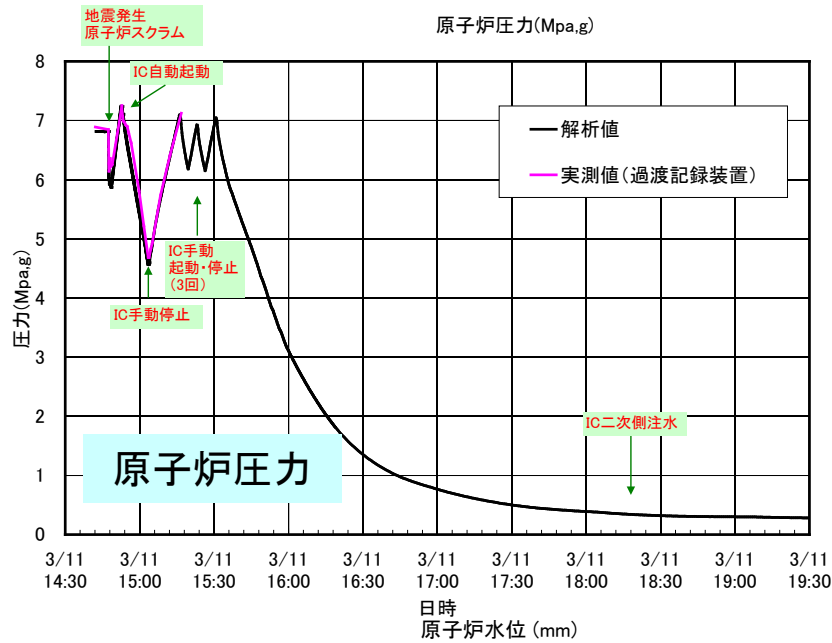


【1】ケース1B : IC継続運転、ICタンクへの補給水有り(初期5時間)



・津波襲来時にICが運転継続できた場合は、事象開始から約3.5時間後には、ICの二次側保有水が無くなるが、さらに、ICタンクへの補給水が成功した場合は、ICの運転が継続する。逃し安全弁は開かないため原子炉水位は低下せず、炉心は健全に保たれる。